

R3働き方改革事業推進校の取組状況

根室管内中間報告会から

今号では、10月29日（金）に行われた、根室管内の中間報告会で発表された中標津町立丸山小学校の報告内容から特徴的な取組等についてお伝えします。

推進校

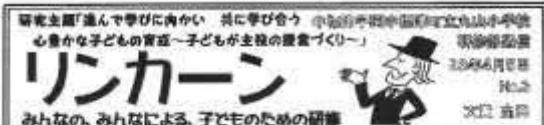
中標津町立丸山小学校



主な取組内容

- マネジメントボードの活用
- 研修部通信による職員の意識啓発
- 年度初めの一週間を午前授業とし、午後は、学年団で年間スケジュールを立てる時間などに充てる。
- 交通安全指導を町内会へ依頼
- 図書室の整備をボランティアへ依頼
- 「身につけさせたい力は何か」という基準で、行事の在り方を見直し

Point ボトムアップによる取組の推進



早い段階で握り紧力の向上につながる！？

私事ですが、今年度から養育が創立の小学校に所属しました。子どもが二人いますが、上の幼稚園年度から始業場へ、そして下の息子も今年度から就学前園に通うことに。その際、園児が主に担当するここにやりました。昨年春までの自分達、日々の平均運動時間が30分、その後は子どもを園舎に入れたり、宿題を付けてして少し仕事をしたり、仕事で一筋に走り、次の日は起きているところに起きて、運動の機会を減らす。朝7時を目標に出勤して運動した役割を果たるために必要な時間を確保し、光景を捉えたいという活動を立ち上げました。今年度から徐々に分道改し方針不利益ですが、しかし、いつまでも現地に足されてしまう！？早起きなどとこで日々の運営は間に合うのか？この問題を解決する方法がついてはまだないんだ。内訳の中の運営を改善をしなければならない……。そんな中、私が音楽から離れて考え方や実践の参考にしていく「音楽祭祭さん」の音楽である「成長」を上げて同時に楽曲の仕事場（音楽会場）にこれからは運営を音楽祭にすることがたくさん聞いていました。そして、これは他の学校でなく校内の実験にも関係しているのであります。

主な課題

- 時間外在校等時間が45時間を超過している職員の数が減らない。
- 超過している職員の固定化

今後の展開

- 分掌業務の洗い出しをした上で、どのような働き方にシフトすべきか学校全体で模索する。

種々ある校内外の通信には学校の目指す姿が触れられていて統一感を感じます。教員の献身的な行動で信頼の厚い学校と拝察します。

働き方改革は、未来志向の学校づくりです。地域の信頼を土台に、協議を通して協働の取組を充実させ、好事例として啓発していただきたいと思います。



毛利教職員課主幹
(働き方改革) から

校長先生の方針の下、重点を明確にし、重複しているものや目的が曖昧なもの、効果が見えないものは大胆に削除したり、委託する形をとっています。

地域の教育力を活用して教育の質を高めることや、職員一人一人が日常の働き方を意識することによって、学校が一丸となって働き方改革を進める好事例です。



教育局働き方改革
推進チームから